

4 衛 生 費

159,251,443 円

衛 生 費

○ 衛 生 費

159,251,443円

1. 保健衛生

(1) 定期接種

区	分	対象人員	実施人員	実施率	備 考
種 痘	第 1 期	1,000人	750人	75%	乳 幼 児
	第 2 期	800	720	90	小 入 児
	第 3 期	500	495	99	小 卒 児
	計	2,300	1,965	85.4	
百 日 咳 ジフテリア (破傷風)	第 1 回	1,000	739	73.9	乳 幼 児
	第 2 回	739	596	80.6	"
	第 3 回	596	487	81.7	"
	計	2,335	1,822	78	
	第 2 期	900	347	38.6	初回完了後12ヶ月
	小 計	3,235	2,169	67	
ジフテリア	第 3 期	800	680	85	小 入 児
	第 4 期	500	490	98	小 卒 児
	計	1,300	1,170	90	
ポリオ 生ワクチン	第 1 期	1,000	839	83.9	乳 幼 児
	第 2 期	900	491	49.1	1期完了後6ヶ月
	計	1,900	1,330	66.5	
合 計		8,735	6,634	75.1	

春、秋2期に分けて、計画、実施をしている。福生医師会、開業医師を委嘱して、東京都衛生局予防部の指示に基づきこの業務をおこなう。

(2) 任意接種

区分	対象区分	対象者数	実 施 人 員			
			実施率	第1回	第2回	計
日本 脳 炎	一般幼児	3,000	39%	1,169		1,169
	保育幼稚園児	0	0	0		0
	小学校4年生	593	81	483		483
	中学校2年生	448	73	324		324
	計	4,041	64	1,976		1,976
イン フル エン ザ	一般幼児	3,000	40	1,200	308	1,508
	小学生	3,600	73	2,631	1,772	4,403
	中学生	1,500	75.4	1,131	803	1,934
	計	8,100	62.8	4,962	2,883	7,845
合 計		12,141	63.5	6,938	2,883	9,821

日本脳炎接種及びインフルエンザ接種の対象者が、満る才以上となったので、接種者が少なくなった。

(3) 防 疫

伝染病月別発生状況

病名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
猩紅熱		2	1	0	0	1	1	1	2	4	1	1	2	16

赤痢の発生がなく、軽症の猩紅熱のみの発生だった。

業務内容 患者発生 入院措置 患家及び関係家屋消毒

(4) 結核予防

ア 検診状況

区 分	対 象 者	X 光 線 撮 影	接 種		X 光 線 %	要 精 密 者
			ツベルクリン	B C G		
乳 幼 児	3,000	0	2,026	843	0	10
一 般	3,000	496	0	0	17	11
小 学 校	3,600	3,408	3,433	119	95	20
中 学 校	1,500	1,405	670	17	94	4
計	11,100	5,309	6,129	979	48	45

イ 患者登録状況

区 分	感 染 性			非 感 染 性			肺 外 結 核			不 明	計
	入院	在宅	その他	入院	在宅	その他	入院	在宅	その他		
登 録 数	21	6	1	14	86	9	0	7	1	13	158

死亡率第一位を続けていた結核は、がんなどの死亡者が多くなったこと、化学療法が普及したことにより、死亡者は少なくなったが、決して患者は少なくなっていない。

(5) 母子衛生

ア 出生状況 月別

地区	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福 生		61	56	57	50	58	39	50	46	46	55	37	34	589
熊 川		44	42	44	36	39	40	37	26	35	34	31	35	443
計		105	98	101	86	97	79	87	72	81	89	68	69	1,032

イ マザークラス

地区 \ 開催月	5	7	9	11	1	3	計
受講者数	31	31	40	36	32	21	191
全課程終了者	20	20	31	27	26	17	141

(6) 乳幼児検診状況

(3ヶ月児)

地区 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福生	31	24	23	31	24	23	30	37	22	23	17	20	305
熊川	27	27	18	21	21	25	21	20	16	15	18	24	253

(9ヶ月児)

地区 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福生	17	24	20	13	22	30	21	25	23	27	26	32	280
熊川	16	12	19	21	23	26	21	21	17	12	22	25	235

(7) 老人、成人病予防検診状況

ア 老人検診

	一般診査				精密診査			
	受診者	診査結果			受診者	診査結果		
		正常	要精密	要療養		正常	要.その他	要療養
一般対策	172	85	46	41	27	1	10	16

満65才以上の管内老人を対象とするが、市内開業医を依頼して、自由受診をはじめて実施する。対象者1,300人に官製ハガキに通知、受診券を兼ねた印刷をして配布する。条件としては、あくまで、医治を受けてない者だが、自由受診を続ける予定である。

イ 成人病予防検診

区分	方法	実施回数	検診		説明
			受診者	要精密者	
胃がん	都検診車	4	249	41	車1台70人分として、募集、精密者発見 心電図その他の精密まで無料
高血圧	保健所依頼	3	496	11	
子宮がん	"	1	114	28	手術者1名だったが、成績不良 高血圧 貧血症
食事療法	"	2	170		
計		10	1,029	80	

成人病予防の一番重要なのは、早期発見と、治療のすすめかたにある。

都の検診車を利用して、できるかぎりこの運動をつづけ、がん死亡者の皆無こそ検診の意義がある。

ウ 献血運動状況

区分		受付総数	採血者数	不採血者数			
				比重不足	低血圧	その他	計
人員	男	102	94	6	1	1	8
	女	68	30	18	15	5	38
	計	170	124	24	16	6	46

(8) 医療関係状況

ア 関係施設数

病院	医院 診療所	歯科 医院	助産所	歯科 技工所	施術所	出張 施術所	計
4	23	12	4	3	14	3	63

4 医薬関係従事者数

医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	衛生師 歯科 技 工 師	助産婦	看護婦	准看護婦	計
25	12	26	4	8	51	77	203

(9) 狂犬病予防状況

登録、接種、捕かく状況

区 分		捕 か く 件 数					
	登 録 予防接種	捕かく	咬傷犬	廃 犬	薬 殺		計
					8 月	12月	
犬 数	1,303	494	16	19	28	21	578

(10) 母子関係予防行事状況

赤ちゃん保育コンテスト

区 分	参 加 者	入 賞			計
		最優良児	優 良 児	努 力 賞	
人 員	68	1	11	1	13

第16回コンテストは、大風雨のため、参加者が少なかったが、平均発育は良好であった。

(1) 死亡原因

ア 病名及び人員状況

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
脳血管疾患	悪性新生物	心臓疾患	老衰	肺炎	気管支炎	結核	不慮の事故	自殺	腎炎及ネフロゼ	その他の周産期死亡	肝硬変	高血圧性疾患	気管支喘息	糖尿	消化性潰瘍	出生児損傷難産	先天性異常	良性新生物	その他	計
50	32	18	5	6	1	1	7	2	2	1	1	4	3	3	2	4	3	2	30	177

成人病死亡者が、上位をしめておりますが、老人も多くふくまれております。

(8)は交通事故が大半です。結核は化学薬品などの治療剤に効果があり、患者も少なくなりました。

イ 悪性新生物 (がん) 内容説明

区分		胃がん	肺がん	肝臓がん	食道がん	乳がん	子宮がん	その他	計
死亡数	男	8	1	1	1			5	16
	女	9	1	3	0	1	2	0	16
計		17	2	4	1	1	2	5	32

がん予防については、あくまでも早期発見と治療だけが、予防と言われております。

2. 環境衛生

(1) 作業実績

夏期衛生班を編成し、動力煙霧消毒及び動力ミスト消毒を行なった。

区 分			散布面積	使用量	薬 剤 名
発生源	カ	公共下水	120,000 ^{m²}	900 ^ℓ	スミチオンVP油剤 フエニトロチオン 0.5% (D.D.V.P 0.2%)
		その他			スミチオンVP乳剤 フエニトロチオン 5% (D.D.V.P 2%)
対 策	ハ エ				

(2) 薬剤配布 (地区組織)

便池投入用薬剤及びねずみ駆除剤を地区組織をとおり、各世帯に配布した。また、日程に基づき各町会に消毒機械の貸付を行ない、カ、ハエの発生防止をした。

対 象	薬 剤 名	配布世帯数	配 布 量	備 考
カ、ハエ	バイテックス 5%	8,995	179.9Kg	5月、6月分
	D.D.V.P 2%			1ヵ月1世帯1.0ℓあて
"	"	9,010	180.2Kg	7月、8月分 "
"	"	9,010	180.2Kg	9月、10月分 "
"	フエニトロチオン 5% D.D.V.P 2%	8,987	449.35ℓ	越冬用 1世帯50CCあて
"	フエニトロチオン0.5% D.D.V.P 0.2%		1,200 ℓ	煙霧消毒用
ねずみ	シリロシード 0.05%	7,286	3,643Kg	1世帯5ℓあて

(3) 除草薬剤の散布

市内公園の雑草駆除防止として、年3回にわたり除草薬の散布作業を行なった。

薬 剤 名	摘 要	薬 量	散 布 面 積
グリマトールS	発芽抑制剤	277Kℓ	120,000㎡
キルジンS	除 草 剤	474Kℓ	
ニ ッ テ ン	添 着 剤	146.5ℓ	

(4) 公衆便所

区 分	委 託 者 数
牛浜駅前便所清掃管理	1

(5) し尿、じん芥処理

ア し尿処理実績

し尿処理については、委託により全市を福生地区と熊川地区に分け、それぞれ3台と2台（バキューム車1,800ℓ）を投入し、1世帯1ヶ月1回の収集を遅滞なく処理した。

区 分	西多摩衛生組合	そ の 他	計
台 数	8,140台	2,323台	10,463台
処 理 量	14,652.00Kℓ	4,181.4Kℓ	18,833.4Kℓ

イ じん芥処理実績

じん芥収集については、特殊車（2t車）6台を業者委託し、一般世帯から排出されるごみの収集に週5日、不燃物収集については、毎週木曜日を定日として、月平均630tを処理した。また、市直営の車（2t車）2台により、毎週計画に基づき、特別収集公共施設及び多量排出地域の収集清掃を実施した。

区 分	直 営		委 託		持 込		計	
	台数	量(t)	台数	量(t)	台数	量(t)	台数	量(t)
焼 却	1,476	1,920	4,698	6,050	1,475	490	7,649	8,460
埋 立 て	0	0	1,130	1,470	0	0	1,130	1,470
計	1,476	1,920	5,828	7,520	1,475	490	8,779	9,930

ウ 委託契約業者数

区 分	委託業者数
し尿収集	2
じん芥収集	1
計	3

エ 水洗便所の清掃

し尿汲取手数料の無料化に伴う、汲取便所使用者と水洗便所使用者の住民間の不均衡を是正するため、水洗便所の清掃に係る経費の一部軽減措置を実施した。

件 数	清掃実施件数
届出浄化槽	33
無届浄化槽	22
ため式	301
計	356

オ 首都美化活動

市内1地区のモデル地区を選定し、他地区の範となる実施活動をした。また全地区に美化の啓もう、啓発活動を行なった。

区 分	員 数
都依頼美化協力員数	12
市依頼美化協力員数	16

カ 現 有 力

人 員		収 集 車	消 毒 機		
運 転 手	作 業 員	普通及びダンプ 収集車	噴 霧 機	二 兼 機	三 兼 機
2 人	2 人	2 台	3 台	2 台	2 台

(6) じん芥及びし尿処理経費

項目 年 度	才 出				才 入			差 引 (B)-(A)
	清 掃 費			総 額 (A)	汚物処理取扱手数料		総 額 (B)	
	総務費	じん芥 処理費	し 尿 処理費		じん芥	し尿		
4 6	68717,109	25284394	31,556,356	125,557,859	1,191,190	1,534,100	27,252,900	△ 122,832,569

(7) そそく昆虫駆除経費

支出 区 分	年 度 4 6
人 件 費	77,540 円
薬 品 費	1,596,850
修 繕 費	35,920
そ の 他	56,774
計	1,767,084

3. 公害防止対策調査活動

公害とは、大気汚染、河川の汚濁、騒音、振動、地盤の沈下、悪臭等によって人が健康や生活に障害を受けることをいい、これらの防止対策としては、昭和42年に制定された公害対策基本法や昭和44年7月に制定された東京都公害防止条例によって規制されている。この法規制に基づいて、つぎのとおり調査活動を行なった。

(1) 大気汚染調査実施状況

実施月日	調査地点	調査対象	調 査 結 果						自動車騒音中央値
			一酸化炭素		鉛		交 通 量		
8月 4日	熊川724番地先交差点	大気中の一酸化炭素、鉛及び交通量	1時間平均	PPM 3.95	10時間平均	$\mu\text{g}/\text{m}^3$ 0.45	1時間平均	台 1,034	67ホン
9月29日	福生2167番地先交差点	"	"	7.30	"	295	"	1,325	72
10月 8日	熊川438番地先交差点	"	"	5.22	"	2.10	"	1,452	73
11月14日	本町91番地先交差点	"	"	7.08	8時間平均	1.05	"	938	—
11月21日	"	"	"	5.03	"	240	"	854	—
1月16日	"	"	"	1.15	"	—	"	938	—

一酸化炭素及び鉛を調査した結果、国の環境基準（一酸化炭素 20 PPM、鉛は昭和45年6月厚生省暫定値 $5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ）以下であることが判明した。

(2) 自動車排出ガス測定状況

実施期間	測定回数	測定台数	測定結果		備考
			規制基準以下	規制基準以上	
46年4月~47年3月	11回	58台	48台	10台	

自動車の排出ガスを測定した結果、規制基準を超えた車については注意書を渡し、修理点検、調整をするよう指導した。

(3) 水質汚濁調査実施状況

検体採取年月日	検体採取地点	PH	BOD	SS	DO	COD	フェノール	カドミウム	総水銀	油脂
46年10月4日	福生531番地排水口	—	34	16	4	—	—	—	—	—
"	福生409番地排水口	—	73	58	0	—	—	—	—	—
"	熊川1043番地排水口	—	32	180	0	—	—	—	—	—
"	熊川1043番地 多摩川	—	71	76	6	—	—	—	—	—
"	熊川1798番地 排水口	—	35	60	0	—	—	—	—	—
47年2月23日	熊川団地下下水	9.09	17.4	13.0	—	9.70	0	こん跡	0	5.0
"	同上 多摩川	7.92	3.7	1.0	—	7.76	0	0	0	24.5
"	幸楽園下基地排水口	7.36	18.1	6.0	—	10.67	0	0	0	8.5
"	同上 多摩川	7.75	7.8	10.0	—	10.28	0	0	0	12.0
"	中福生下下水	7.18	8.5	0	—	5.04	0	0	0	17.0
"	永田橋下 多摩川	8.39	10.5	6.0	—	10.48	0	0.002	0	16.0
"	都市下水路排水口	9.04	7.8	14.0	—	11.64	こん跡	こん跡	0	14.0
都の規制基準		6.0 }	20	70	5	30	1	0.1	検出されな いこと	—
		8.0	以下	以下	以上	以下	以下	以下		

水質の汚濁状況を調査した結果、BOD（生物化学的酸素要求量）とSS（浮遊物質）が規制基準をこえていたが、カドミウム、総水銀については検出されなかった。

(4) 航空機騒音の調査実施状況

測定年月日	測定場所	測定時間	離着陸機数	最高音	1時間当たり平均離着陸機数
46年 6月 8～9日	福社会館屋上	24時間	134機	96ホン	5.5機
46年 7月 1～2日	東福生駅前	＃	85	86	4.0
46年 7月28～29日	南側滑走路付近	＃	144	95	6.0
46年12月16～17日	福社会館屋上	＃	105	100	4.3
46年12月20～21日	南側滑走路付近	＃	98	97	3.0
47年 1月21～22日	福生病院付近	＃	54	89	2.0

航空機騒音を測定した結果、エンジンテスト等を含め常時東京都の日常生活音量基準（第2種住居地域45～50ホン）を超える状態であった。

なお、46年5月にジェット戦闘機が全部他の基地へ移駐したため、騒音は多少低くなっている。

(5) 工場等各届出件数

件名	件数	件名	件数
工場設置認可届	19件	氏名等変更届	2件
工場変更認可届	13	指定作業場届	4
工場承継届	3	特定建設作業届（くい打）	2
水質汚濁防止に基づく届	45		

公害防止条例により届出された工場や作業場の件数です。

(6) 苦情受付件数の内訳

月	ばい煙	粉じん	有害ガス	悪臭	汚水	騒音	振動	その他	計
4月		1		1				1	3
5月				1				1	2
6月				3		1		3	7
7月					1	1		9	11
8月				2				5	7
9月				1				4	5
10月				2					2
11月						1			1
12月				2				1	3
1月									0
2月									0
3月						1			1

苦情があつたのは合計42件であつたが、なかには少し注意すればふせげるものもあつた。